

株主通信

第72期 報告書

[令和4年4月1日～令和5年3月31日]



今日を支え 明日を創る

株式会社 四電工

YONDENKO

Investor
Relations
2023

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素格別のご支援を賜り、有難く厚くお礼申し上げます。
株主のみなさまにおかれましては、これまでどおり、一層のご理解とご支援を
賜りますようお願い申し上げます。

令和5年6月

代表取締役社長

関谷 幸男



○令和4年度の当社グループの事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費や雇用が改善するなど緩やかな持ち直しの動きが続く一方、世界的なインフレ進行や物流の停滞などから生産が弱含むなど厳しい状況が続いており、四国地域においてもほぼ全国と同様の状況で推移しました。

建設業界におきましては、設備投資に持ち直しの動きがみられるなど受注環境は比較的良好であった半面、資機材の調達遅延や価格上昇などにより、工事進捗や工事原価への影響に留意が必要な状況にありました。

こうしたなか、受注高は引き続き高水準を確保しましたが、大型工事の進捗が極めて高い水準にあった前期の反動減や資機材の調達遅延などから、当連結会計年度の当社グループの受注高は912億20百万円(前連結会計年度比 0.2%減)、売上高は891億20百万円(同 3.8%減)、営業利益は49億70百万円(同 8.2%減)、経常利益は55億67百万円(同 9.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は37億64百万円(同 0.4%減)の減収・減益となりました。

○事業環境と当社グループの取り組み

建築設備工事業を取り巻く当面の事業環境は、首都圏・関西圏における再開発案件や地域の社会資本整備など引き続き底堅い建設需要が見込まれる一方で、世界的な素材価格の高騰等に起因する資機材価格の値上がりに加え、建設人口の減少など、受注面、施工面への影響が懸念される状況にあります。

一方、電力関連工事につきましては、地域の電力需要の現状からみて送配電設備投資の大きな伸びは期待できないものの、自然災害の激甚化などライフラインの強靱性確保の重要性はより一層高まっており、そうしたなかで過不足のない施工体制を維持しつつ収益性を確保していくことが課題となっています。

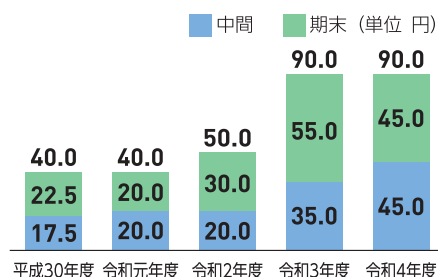
こうしたことから、DXを含む生産性向上施策の推進や健康経営の実践について戦略的に取り組んでいくことにより、働き方改革の実効性を高め、技術者の安定確保に努めてまいります。

また、当社としては、現下の市場環境やリスクに的確に対処しつつ業績の向上に取り組むとともに、2021年7月に策定した『中期経営指針2025』に沿って、企業価値を持続的に高めてまいります。併せて、同年11月に策定した「四電工グループ サステナビリティ方針」(※)を踏まえ、グループ全体にてESG経営を実践していくことといたします。

(※) <https://www.yondenko.co.jp/corporate/conduct-sustainability.php>

1株当たりの配当金額

期末配当金につきましては、現下の業績動向に鑑み、株主のみなさまのご期待に応じていく観点から、1株当たり45円とさせていただきますことと決定いたしました。



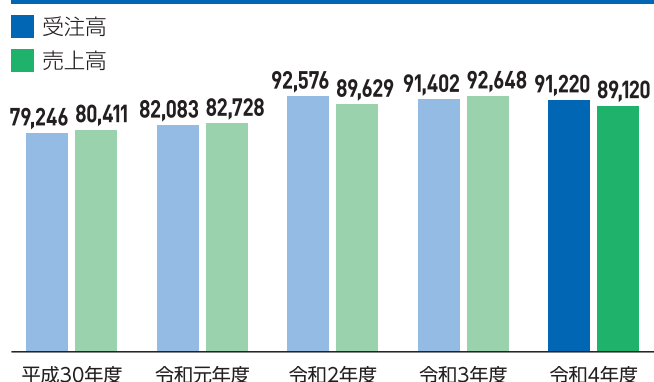
(注) 当社は、令和3年10月1日付で、株式分割(1株を2株に分割)を実施しております。
また、令和3年度中間以前の配当金額は、分割後に換算してあります。

2022年度 財務ハイライト

当社グループの業績および財産状況の推移

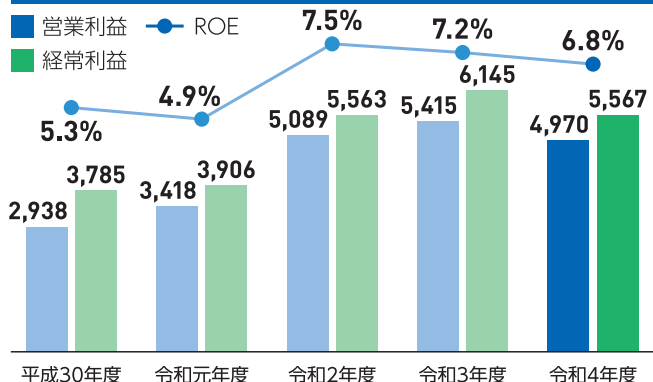
受注高・売上高

(単位 百万円)



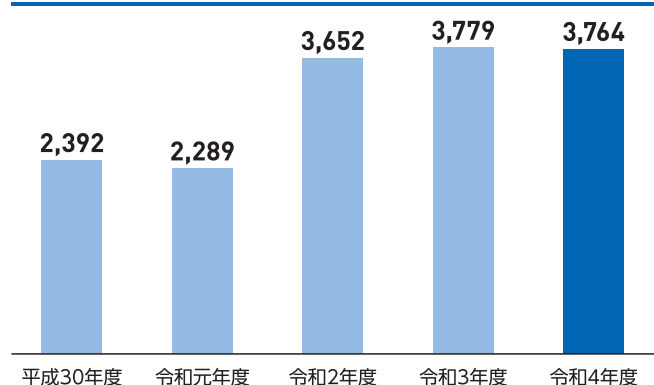
営業利益・経常利益・ROE

(単位 百万円)



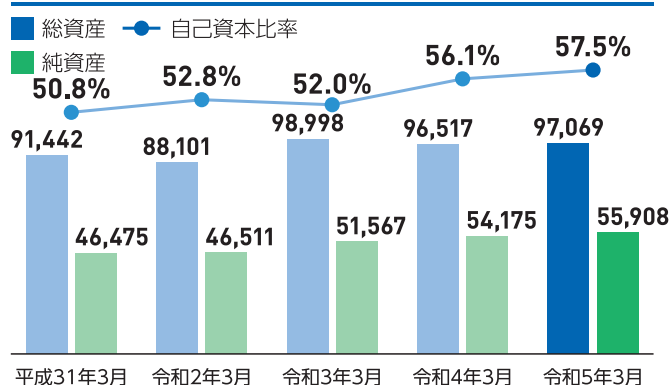
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位 百万円)



総資産・純資産・自己資本比率

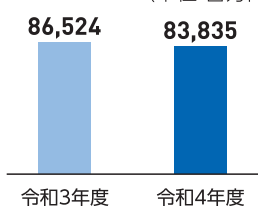
(単位 百万円)



当社グループのセグメント別営業の概況(売上高)

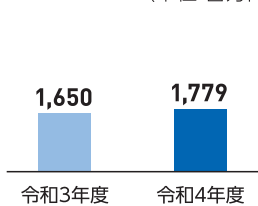
○設備工事業

(単位 百万円)



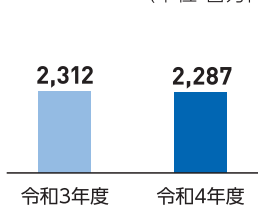
○リース事業

(単位 百万円)



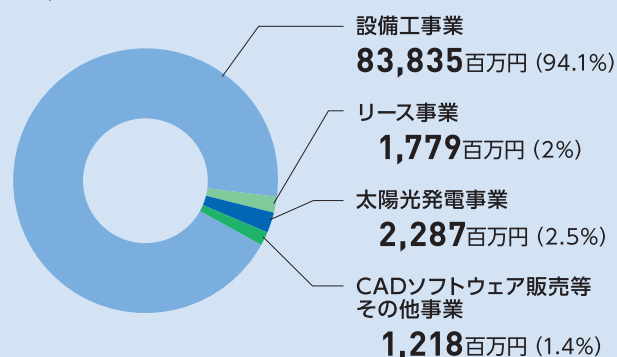
○太陽光発電事業

(単位 百万円)

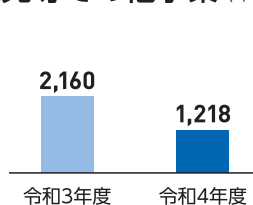
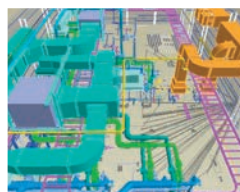


売上高

89,120百万円



○CADソフトウェア販売等その他事業 (単位 百万円)



施工実績・現場写真

建築設備工事



西新宿五丁目北地区防災街区整備事業
施設建築物新築工事
[東京都新宿区] (電気設備工事)



(上) 富田病院東棟増築工事
[徳島県] (電気・機械設備工事)



(右) 高知市文化プラザ長寿命化整備事業
[高知県] (電気設備工事)

(下) 松山赤十字病院新病院建設事業 病院棟外建築工事 [愛媛県]
(電気・機械設備工事)



情報通信・システム制御工事



令和2年度松尾トンネル外非常用設備
更新工事 [愛媛県]



物流センター [香川県]
(搬送システム設計・施工)



銅山川第2電気設備改修工事 [愛媛県]
(電気計装工事、制御盤設計・製作・施工)

配電・送電工事



新改高知線4建替 [高知県]
(鉄塔組立工事)



西通線4Lケーブル張替 [香川県]
(地中ケーブル工事)

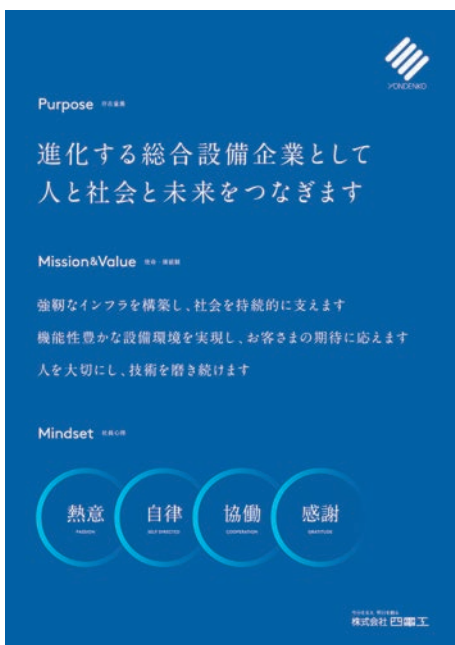


電柱支障移設 [徳島県] (配電工事)

トピックス

設立60周年

当社は、2023年5月1日に設立60周年を迎えました。これもひとえに当社グループを支えていただいた皆様のご支援のおかげであり、深く感謝いたします。引き続き、次の5年、10年に向けて、成長投資や人財投資を積極的に進めるとともに、ステークホルダーの皆さまとの共存共栄を図りながら、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。



経営理念の刷新

設立60周年を機に、当社の存在意義や使命・価値観を再定義した新しい経営理念を制定しました。

■存在意義 (Purpose)

進化する総合設備企業として人と社会と未来をつなぎます

■使命・価値観 (Mission&Value)

- ・ 強靱なインフラを構築し、社会を持続的に支えます
- ・ 機能性豊かな設備環境を実現し、お客さまの期待に応えます
- ・ 人を大切にし、技術を磨き続けます

当社は、設備工事をオールラウンドで担う「総合設備企業」です。これからも技術を磨き、進化を続けていくという決意を表すとともに、設備工事によって設備を空間軸で「つなぐ」ことで豊かな設備環境を実現し、時間軸では人や社会の営みを未来に「つなぐ」役割を果たしていく、という思いを込めたものです。

周年記念関連行事等の実施



記念式典の開催(5月12日、於：高松市)



社内公募で選出された記念ロゴ(3種類)

地域スポーツへの貢献

サッカー大会の開催や各種イベントへの協賛等

少年サッカー大会の主催および各種スポーツイベントへの協賛や参加を通じて、地域におけるスポーツ活動の振興に取り組んでいます。



駅伝イベントへの協賛および参加(香川県)



第13回 四電工カップ優勝チーム(高知県)



少年サッカーイベントへの協賛(香川県)

サステナビリティへの取り組み

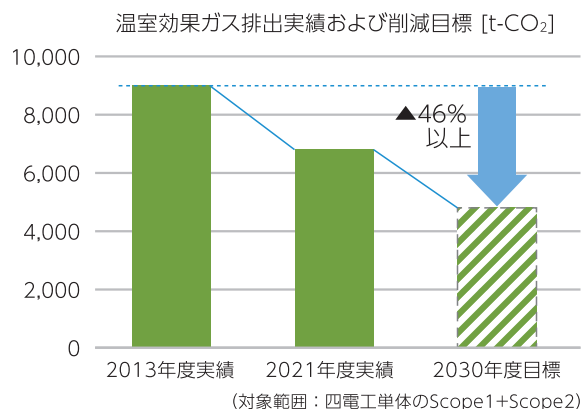
当社グループは、ESG経営推進の観点から、事業活動全般を通じてサステナビリティにつながる取り組みを進めております。

気候変動対策の取り組み

TCFDの提言に賛同

当社は「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)」の提言に賛同し、気候変動が事業に与えるリスク・機会に関して、適切に情報を開示しています(※)。今後、CO₂削減目標(2030年度に2013年度比で46%以上削減)の達成にむけて、自社設備の省エネ化や車両の電動化などの施策を進めていきます。

(※)詳細は当社ウェブサイトをご覧ください。



人財の育成・技術継承

電力の安定供給に向けて

四国内の工業高等学校の生徒などを対象に、電気工事の実技指導を行っています。2022年度は、計7校(延べ200名以上)の生徒に対して実施しました。



就学・就労支援資金等への資金拠出

若者の就学支援および地元での雇用創出を目的とする制度の趣旨に賛同し、昨年に引き続き、四国各県の基金へ資金拠出を行いました。

自治体名	制度名
徳島県	徳島県奨学金返還支援制度
愛媛県	愛媛県中核産業人材確保支援制度
香川県	日本学生支援機構第一種奨学金返還支援制度

(注)高知県については、現在のところ同様の制度がないことから、今回は資金拠出を行っておりません。

電力の安定供給に向けて

雪害による電力設備被害 復旧活動

2022年12月下旬、強い冬型の気圧配置の影響で、日本列島は広い範囲で大雪となり、四国では記録的な積雪が観測されました。これにより、特に高知県、愛媛県の山間部では倒木等による停電が数多く発生しました。

比較的大規模な停電被害ではありましたが、当社では県外からの応援や除雪作業を担う自治体など、関係各所と連携しながら懸命に巡視・復旧作業に取り組んだ結果、概ね5日間で停電を解消するにいたりしました。

今後とも、ライフラインを守るという使命を果たすべく、全力で取り組んでまいります。



会社概要／株式情報

会社概要 (令和5年3月31日現在)

商 号 株式会社 四電工
設立年月日 昭和38年5月1日
資本金 34億5,125万円
事業所数 49カ所
従業員数 2,096名
役員 (令和5年6月29日現在)

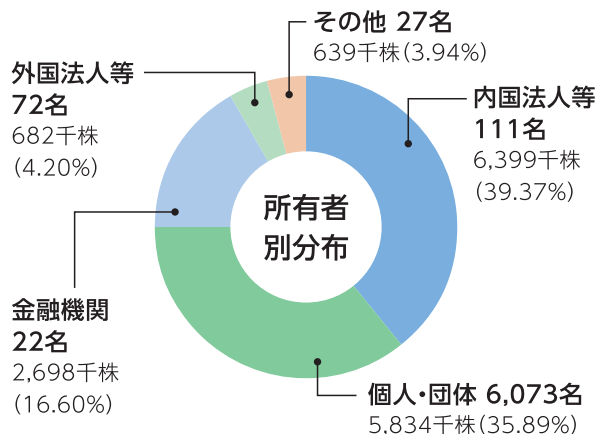
代表取締役社長 関谷 幸男
代表取締役専務執行役員 古川 俊文
取締役専務執行役員 山崎 直樹
取締役専務執行役員 中川 隆
取締役専務執行役員 山本 愛朗
取締役専務執行役員 柳川 賀久
取締役専務執行役員 山口 隆浩
取締役(社外) 佐野 正
取締役(社外) 戸谷 美奈子
取締役(監査等委員会委員長(社外)) 橋倉 荘六
取締役(監査等委員(社外)) 川原 央
取締役(監査等委員(社外)) 岡林 正文
取締役(監査等委員(社外)) 平野 美紀

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
単元株式数 100株
公告方法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。
(<https://www.yondenko.co.jp/>)
上場取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
各種お問い合わせ先 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先 大阪証券代行部
(<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>)
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777(通話料無料)
※受付時間 9:00～17:00
(土、日、祝日、12月31日～1月3日を除く)

株式の情報 (令和5年3月31日現在)

発行可能株式数 40,000,000株
発行済株式の総数 16,255,470株
株主数 6,305名
所有者別分布



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
四国電力株式会社	4,999	31.75
四電工従業員持株会	999	6.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	913	5.80
光通信株式会社	461	2.93
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	359	2.28
株式会社愛媛銀行	309	1.97
吉田知広	271	1.72
株式会社伊予銀行	222	1.41
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	184	1.17
日本生命保険相互会社	176	1.12

(注) 1. 当社は、自己株式510,615株を保有しておりますが、上記の表から除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

IR情報メール配信のご案内

最新のニュースリリースやホームページの更新情報などをお届けいたします。
当社ホームページからご登録いただけますので、ぜひご利用ください。

IR情報 ▶ IR情報メール配信

